

令和3年度パネル展（会期：令和4年3月29日（火）～6月26日（日））

船原古墳遺物埋納坑調査の最前線 2021-2022



たてはぎいたかわとじかぶと 豎矧板革綴冑

1 はじめに

福岡県古賀市に所在する船原古墳 1 号土坑から、馬冑等とともに朝鮮半島系の甲冑が出土しました。甲冑は、九州歴史資料館で調査研究を進めており、今回は、豎矧板革綴冑の調査成果をご紹介します。

2 冑の復元

豎矧板革綴冑の調査では、従来の考古学的手法に加え、X線CTや三次元計測などのデジタルデータを用いて、出土状況や冑の形状の復元にデジタル解析技術を活かした手法により行いました（図1）。

豎矧板革綴冑は、鉄板を縦方向に重ね革紐で綴じており、頭頂部の伏板は筒状の突起をもつ冠帽系冑であることが分かりました。さらに、冑には環状の底が付くことが明らかになりました（図2）。なお、底の詳細な構造については現在も検討中です。

冠帽系冑は、朝鮮半島系の冑で、国内ではこれまでに6例しか出土例がありません。また、冑に環状の底が付く事例は、日本列島や朝鮮半島では初めての事例であり、大変重要な発見となりました。

頭頂部の伏板には漆状の有機物が付着しており、伏板の突起部分には有機物製のパーツが付く可能性があります。有機物の調査は現在も継続中です。

3 環状の底を持つ冠帽系冑

冠帽系冑は、冑に冠帽の要素を組み合わせ、身分標章機能を付加したものと考えられています。そのため、冠帽系冑に取り付けられた環状の底は、当時の冠帽の形状を反映したものと推測できます。類例は冠帽から見出すことができます。

日本列島では、涼御所古墳（静岡県）から出土した金銅製透彫金具が冠帽の鏝と考えられています。また、朝鮮半島では、慶州の金鈴塚古墳や天馬塚古墳からは白樺樹皮製彩画板などが出土しています。今後、これらの事例との比較検討を行ないながら、船原古墳の豎矧板革綴冑について詳細を明らかにしていきます。 甲斐孝司（古賀市教育委員会）

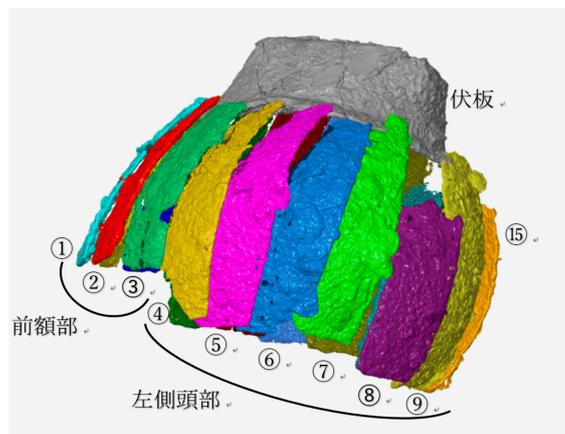


図1 デジタルデータによる冑の復元



図2 冑に環状の底が付いた状態（上から）



図3 豎矧板革綴冑復元CG

船原古墳VRコンテンツの制作

船原古墳^{ふなばるこふん}の科学的調査では、X線CTや三次元計測による調査研究を積極的に進めています。令和3年度は、得られたデジタルデータを利用した、VRコンテンツの制作に取り組みました。ここでは制作過程をご紹介します。

船原古墳のVRコンテンツは、私たちが遺跡^{いせき}で行う調査を、みなさんも同じように体験できることを目標にしました。これは、通常では不可能な体験を実現するものです。

制作にあたり必要なのは、三次元デジタルデータです。1号土坑では、遺物^{いぶつ}が出土した直後に、三次元計測を行い、出土状態^{しゅつどくじょうたい}の高精細なデータを得ました。VRでは足の踏み場のないほどびっしりと遺物が埋まる様子を体感できます。そして1号土坑は、何とんでも豪華な馬具が注目ですが、これを発掘^{はつくつ}するにはどうするか？博物館で地面は掘れません。そこで土坑に入り出土位置まで歩き、スコップとハケに見立てたコントローラを使い、私たちが掘る時と同じ動きができる様にしました。

次に、石室です。ここは普段、封鎖^{ふうさ}していますが、今回、古賀市教育委員会の協力を得て、それを解きました。そして、石室内部の三次元計測を行い、高精細なデータを取得しました。石室に用いた巨大な石材に圧倒されます。また、ドローンで古墳全体を計測し、土坑^{どこう}・墳丘^{ふんきゅう}・石室という船原古墳を構成する全ての遺構の三次元デジタルデータを取得しました。VR体験では、現地に立ち、原寸大の遺跡を体感することができるようになります。

こうして取得したデータを基にして、原寸大の遺構の中に歩いて入り、遺物を発掘する動きを実現できるよう新たなアプリケーションを開発しました。実際の体験は、VRゴーグルを装着して、誰でも気軽に体験できるようにしました。

今回、制作したVRコンテンツは、原寸大の遺構の中へ歩いて入り、遺物^{たんさく}を探索して、発掘する、これまで不可能であった体験を実現できます。私たちが味わっている臨場感を多くの方たちに体験していただきたいと思います。

加藤和歳（九州歴史資料館）

編集 発行：令和4年3月29日



九州歴史資料館
KYUSHU HISTORICAL MUSEUM



▲ 1号土坑の中で見た出土直後の遺物



▲ VRで遺物を発掘する画面



▲ 土坑・墳丘・石室を一体化した三次元データ

〒838-0106 福岡県小郡市三沢 5208-3
TEL 0942-75-9575 FAX 0942-75-7834
URL <http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/kyureki/>